

オミクロン株拡大を防ごう 市内企業がマスク用シート寄贈

2月10日、グリーンセンターてんとうむし(社名:日本ディーアールシステム株式会社、渡壁拓哉代表取締役)からマスク用不織布シートの寄附をいただきました。加藤市長は「新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため有効に活用させていただきます」と感謝を伝えました。シートは災害が発生したときの避難所開設時に配布を想定しています。



遊びながら認知症を学ぶ 認知症カルタ制作協力者に感謝状

1月29日に市社会福祉協議会が、遊びながら認知症の理解が進む「とうおんサポーターかるた(制作:認知症キャラバンメイト)」の制作協力者に感謝状を贈呈しました。挿絵を提供した東温高校卒業生の中村羽姫(写真右)さんは「なるべく多くの人に受け入れてもらえるようなテイストにしました。認知症の理解が進んでほしい」と話しました。

田窪子ども会でお別れ会開催 いちご日和で美味しいシェイク

児童数が約200人と多い田窪地区は小学校5、6年生が地域行事のメイン。地域活動の思い出を残そうといちご日和(下林)で開催されたお別れ会に約40人が参加しました(県事業活用)。いちご日和の渡部嘉久さん(よしひさ)から苺栽培の方法や定番の「いちごシェイク」の作り方を学んだ子どもたちは、美味しい思い出を胸に刻んでいました。



いつまでも健康に 宮東集会所でサロンが開催

宮東集会所でふれあいいきいきサロンが開かれました。サロンでは、握力やバランス感覚を測ったり、チーム対抗で玉入れ競争をしたりして有意義な時間を過ごしました。参加者は「自分の体のことがよく分かるきっかけになった。これからも体に気遣って過ごしたい」と健康増進に意欲を見せました。

手話で自分の気持ちを伝える 手話奉仕員養成研修で手話を学ぶ

毎週火曜日に手話奉仕員養成研修が開かれています。表現の仕方を受講生同士で考え手話を実践的に学びます。受講生は「手話を通してコミュニケーションを取れるようになりたいと思って始めた。ここはレベルアップも図れるし、気さくな人が多いので通いやすいです」と話します。手話通訳士を希望する人もおり、さらなる高みを目指します。



2年ぶりの開催 寒ぼたんまつりが開催

寒ぼたんまつりが井内地区のぼたん茶屋で開かれました。今年は「古き良き日本の姿」をテーマにさまざまな種類の寒ぼたんが並べられました。主催の永井公一さんは「久しぶりに開催できた寒ぼたんまつり。ぼたんの観覧をきっかけに井内のことを知ってもらいたい」と話します。来場者はどぶろくを飲みながら、観覧を楽しみました。



南方でケールの収穫体験 給食センターが企業とコラボ「美味しく作ってね」

2月7日、南方で南吉井小学校と重信中学校の特別支援学級の皆さんがケールの収穫体験を行いました。遠赤青汁(株)の畑で行われた収穫体験には約30人が参加。自分の顔よりも大きな葉っぱを収穫した後、子どもたちは「美味し

く作ってね」と、東温市学校給食センター調理員にケールを手渡しました。ケールは学校給食の食材として2月中の献立内で使われました。
*ケール:野菜の王様と呼ばれるキャベツやブロッコリーの原種。





調理の間に遊ぶ子ども



旨味たっぷりの鶏肉

冬の滑川は寒い。寒いからこそ楽しめるイベントがある。1月22日、なめがわ清流の森で「スウェーデントーチで遊ぼう」のイベントが開かれた。スウェーデントーチと呼ばれる切れ目が入った杉の切り株に、火を灯す。イベントでは、火の付け方から学ぶ。切り株の上に燃えやすい麻のくすを置き、ファイアスターターで火を起す。マッチよりも難しいが、子どもたちは何度も挑戦する。やっと起こせた火でマシュマロを焼く。「ここで食べるマシュマロは美味しい、楽しい」と参加

滑川で遊ぼう

Let's Play In Namegawa



香ばしい香りが漂う

加した子どもは話す。イベントを主催する寺川香さんは、「イベントに来て心がほっと落ち着く瞬間を味わってもうらやま、十分です」と話す。寺川さんは民宿「エスカルなめかわ」を営んでいる。民宿を訪れた人は、丸鶏を使ったダッチオーブンなど季節に応じた体験活動ができる。「冬はダッチオーブンを味わい、夏は川で遊ぶことができるので滑川は年中楽しめる場所です。滑川の自然を満喫してもらいたい。子ども連れでも大歓迎です」と寺川さんは温かい笑顔で話した。



調理を楽しむ寺川さん



鶏肉に具材を詰める

あおぞらルームで育児講座 入園までにやっておくことは？

2月2日に開かれた育児講座では、桑原恵子^{けいこ}さん（元市立幼稚園長）が入園までに家庭で取り組むことをレクチャー。「昔は『おむつをとっておいてください』と案内していましたが、今は大丈夫。園でトイレトレーニングなどをしていくから安心して子どもと向き合ってもらいたい」と呼びかけると、参加した保護者さんの顔が和らぎました。



井内の棚田

雨滝音田の棚田

棚田を後世に継ぐ 東温市の棚田が棚田遺産に選定

棚田地域の活性化につながる「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」において、東温市から井内の棚田と雨滝音田の棚田が選ばれました。井内の棚田はどぶろく「ながい」と「井内米」のブランド化などが認められ、雨滝音田の棚田は美しい景観とブランド化された棚田米が後世につなぐ取り組みとして認められました。



子育てのアレコレ なんでも相談 パパママ教室で不安を解消

誰でも最初は初めてのパパとママ。東温市では年3回パパママ教室（主催：健康推進課）で先輩ママとの座談会などを開催しています。参加者は新生児の人形を使って沐浴を疑似体験。保健師の助言を受けながら夫婦

で段取りを相談していました。2月2日の開催時には特別ゲストとして愛媛リトルレインボーの濱田真美^{まみこ}さんが参加。自身も低出生体重児の双子を出産した経験から、同じ境遇の家族に対して相談会などを開催しています。

Interview



愛媛リトルレインボー 濱田真美^{まみこ}さん

一人じゃないよ

孤独を感じがちな低体重児のご家庭。そんな人たちの不安を少しでも和らげたいとサークルを立ち上げました。同じ境遇のご家庭同士で気持ちの共有ができる場所が必要だと感じます。